

NKB アマチュア大会『問答無用』試合ルール

■試合時間・階級・グローブ・防具等は別紙参照

A クラスは3勝以上及び相応の経験がある者、B クラスは2勝以下または初出場。

現役プロ選手は出場不可。引退選手は出場可、申込書に必ずプロ戦績と引退試合の年月日を記入する事。

上半身はTシャツ・ラッシュガード等、下半身はキックトランクス等を着用（襟・ポケット無し、ボタン・ファスナー等のプラスチック・金属類が付いていない物）。長ズボン・道着不可。上半身裸不可。上着の裾はトランクスに入れる事。ピアス・ネックレス・ヘアピン等の貴金属類は外す事。足の爪は短く切っておく事。

計量において、一般部は1kg、少年部は500gを超えるオーバーは失格、それ以内のオーバーは減点1（下着は200gとみなす）。時間内であれば再計量を認める。契約体重およびヘビー級において計量で5kg以上の体重差がある場合、両選手合意の上でグローブハンデを適用する場合がある。

マウスピース・コンタクトレンズが外れたりヘッドギア・レガースがずれたりしても、その攻防が終わるまではストップしない。ヘッドギア・レガースは各自テーピング等で固定する事。

■有効技 あらゆる種類のパンチ・キック、首相撲でのヒザ蹴り等

■反則

①ヒジ打ち、首から上へのヒザ蹴り、後頭部へのパンチ、上腕・前腕部分での攻撃、金的・下腹部への攻撃、頭突き、サミング（目つぶし）、かみつきの、オープンプロー、ホールディング（蹴り足をつかんでの攻撃は一撃のみ、つかんで三步以上の移動は禁止）、攻撃につながらないプッシング、投げ技（首相撲による崩しは有効。足掛け、腰投げ、さば折りや下半身に手をかけて相手をリングに叩きつける行為は禁止）、絞め技、関節技、倒れた相手への攻撃、後ろを向いている相手への攻撃、ロープを掴む事、相手を場外に出そうとする事、自ら場外に出る事、自ら倒れこむ事。

②逃避行為、消極的姿勢（試合場がリング以外の場合は場外を含む）、時間を浪費する行為。

③無意味な発声、レフリーおよび相手に対する暴言・抗議・威嚇・挑発・侮辱行為。セコンドおよび応援者による暴言等もレフリー・ジャッジ・主催者の判断により該当者に対して退場を言い渡し、従わない時は選手を反則負けとする場合がある。

④レフリーの指示に従わない、不満・不服な態度を取る事。判定への異議。

⑤セコンドは1名まで。試合中はロープをゆすったりリングを叩いたりしない。リングに手を乗せたり物を置いたりしない。リングが水で濡れたらタオルでふき取る事。セコンド以外の応援はコーナー・リングサイドから離れて行う事。

■注意・減点・反則負け・失格

- ①試合開始を遅らせた時は減点 1。試合開始時、コーナーにいない場合は不戦敗。
- ②一試合の間に反則による注意 2 回で減点 1、3 回で反則負け。反則行為が悪質または故意であるとレフリーが判断した時、1 回目であっても減点・反則負けになる場合がある。
- ③第 1 ラウンドに偶然の反則によるダメージで試合続行が不可能な場合はドロー。第 2 ラウンドはそれまでの採点で勝敗を決する（反則時の状況により減点を課す場合がある）。

■勝敗の決定

【KO】

- ①有効な攻撃によりダウンし、10 カウント以内にファイティングポーズを取れない時。

【TKO】

- ①一つのラウンド中に 2 度ダウンした時。

- ②有効な攻撃によりダウンし、8 カウントまでに立ち上がれない時。

- ③試合続行が不可能または戦意喪失したとレフリーが判断した時。

- ④本人またはセコンドが棄権の意思表示をした時（タオル投入等）。

ダウン…有効な攻撃を受け、足の裏以外の部分をマットに付いた時。ただしレフリーがスリップと判断した場合は除く。ダウンカウントは、ダウンを奪った選手がニュートラルコーナーに移動してから始める。ニュートラルコーナーを離れた時はカウントを中断する。

スタンディングダウン…有効打を受け続け、反撃できないとレフリーが判断した時。

首相撲で反撃の意志がなく相手の攻撃を受け続けた場合、一回目は注意、二回目以降はダメージがなくてもスタンディングダウンとなる。

【判定】

3 名のジャッジがラウンド毎に 10 点法で採点し、2 名以上の支持を得た選手が勝者となる。ドローの場合でも延長戦は行わない。

【判断基準】

- ①クリーンエフェクティブヒット（有効打：パンチ・キック・ヒザ蹴りを同等に評価する）
- ②アグレッシブシップ（攻撃・積極性）
- ③ディフェンス（ガード）
- ④リングゼネラルシップ（主導権支配）

【採点】

互角 10-10、優勢 10-9、1 ダウンもしくは圧倒的優勢 10-8

ダウンを奪われた選手がラウンドを通して見ると優勢な場合でも、ダウンを奪った選手の 10-9 優勢となる。ダウンを奪い返すか、圧倒的優勢でない限り 10-10 とはならない。

第 1 ラウンドは、ダウンカウント中に終了時間になってもカウントは続行する。第 2 ラウンドは、ダウンカウント中でも終了の合図でカウントを止め判定となる。

上記に定められた以外の問題が生じた場合は試合を中断し、レフリー・ジャッジ・主催者が協議して解決する。